

■博士課程教育リーディングプログラム

「博士課程教育リーディングプログラム」は、優秀な学生を俯瞰力と独創力を備え広く産学官にわたりグローバルに活躍するリーダーへと導くため、国内外の教員・学生を結集し、産・学・官の参画を得つつ、専門分野の枠を超えて博士課程前期・後期一貫した世界に通用する質の保証された学位プログラムを構築・展開する大学院教育の抜本的改革を支援し、最高学府に相応しい大学院の形成を推進する事業です。

九州大学総合理工学府では、工学府地球資源システム工学専攻と共に、3つの学術分野＝物質材料科学・システム工学・資源工学のいずれかを専門(研究分野)とする我が国とアジアの大学院生が、自身の専門に加えて他の二専門分野、三分野の総体としての環境学および社会学・経済学の基礎を複合的に学び、さらに、国内外の実践経験を積むことによって、アジアの理工系リーダーになるに相応しい必要な五つの力＝研究力・実践力・俯瞰力・国際力・牽引力を獲得し、同時に、アジア人材ネットワークを形成するための、博士課程教育リーディングプログラム「グリーンアジア国際戦略プログラム」を提供します。

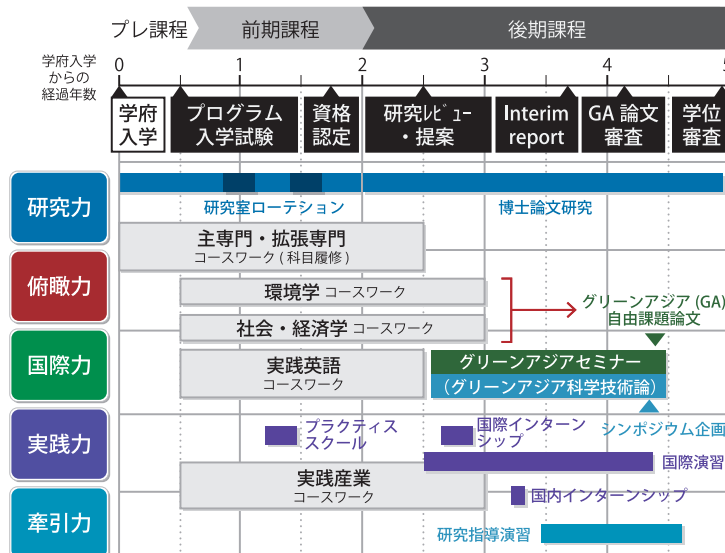


■グリーンアジア 国際戦略プログラムの概要

本センターでは、グリーン化と経済成長を両立したアジア(グリーンアジア)の実現に資する理工系リーダーを養成することを目的に掲げています。本センターでは、リーダーにも求められる資質を「研究力」「俯瞰力」「国際力」「実践力」「牽引力」と規定し、それらの能力を修得できるよう、従来の大学院教育の枠にとらわれない新たな学位プログラムを設けています。

■学位プログラムの全体構成

5年一貫制の博士課程となる本学位プログラムは、グリーンアジア戦略のリーダーに必要な研究力・俯瞰力・国際力、実践力および牽引力を養成するために、コース学生がこれらの能力をバランスよく獲得し、その能力養成過程が自・他から見えるように設計している点が特徴です。



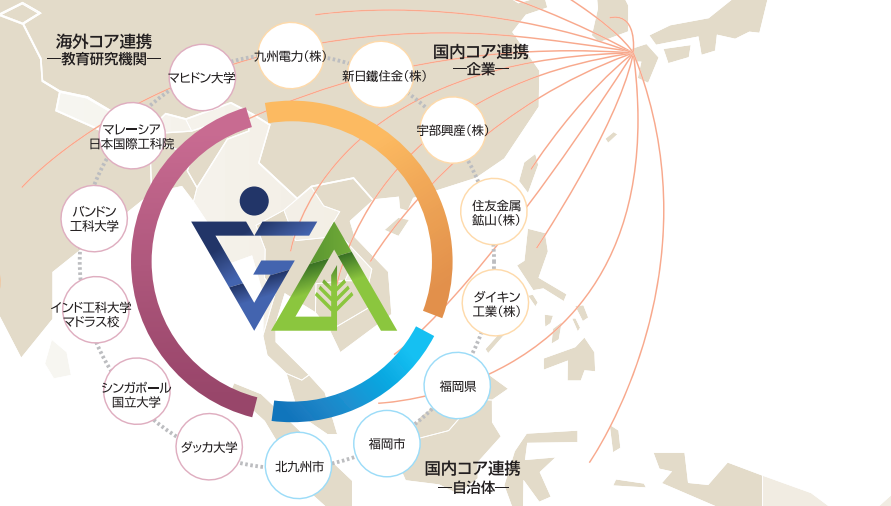


■連携機関

九州大学総合理工学府3専攻(量子プロセス理工学専攻、物質理工学専攻、環境エネルギー工学専攻)と工学府地球資源システム工学の主体4専攻を中心に、九州大学の関連研究院、研究所、研究機構、更には、民間企業、自治体、海外教育研究機関と緊密な連携

を図ることで本プログラムを実施します。6つの海外コア連携機関を中心として、アジア圏に海外連携機関を有しており、広域な連携ネットワークを構築している点が大きな特徴です。

プログラム運営の主体4専攻



■九州大学3リーディングプログラム推進体制図

グリーンアジア国際戦略プログラムは九州大学の他の2つの博士課程教育リーディングプログラムとともに、国際化を含む大学院教育改革をさらに推し進めるための戦略プロジェクトとして位置づけられ、総長の指導の下、実施組織および推進検討支援組織(大学

院リーディングプログラム推進ワーキンググループおよびリーディングプログラム支援室)からなるリーディングプログラム推進体制が構築されています。また、3リーディングプログラム間でも運営のあり方に関して随時意見交換を行っています。

